

令和3年度地方独立行政法人神奈川県立病院機構の決算概要について

令和3年度は、収益面では、新型コロナウイルス感染拡大の状況下においても、県立病院の使命である、高度・専門医療を必要とする患者の受入れ等に努めた結果、外来患者数が増加し、医業収益は前年度から24億9,200万円の増となった。一方、費用面では、高額薬品等の使用による材料費の増や、委託料等の経費の増などにより、医業費用は前年度から17億7,300万円増加した。その結果、医業損益は7億1,900万円改善したものの、コロナ前の水準まではまだ回復できていない。

また、新型コロナウイルス感染症対応のため、実施できなかった業務について運営費負担金を一部返還したが、前年度に引き続き、国や県による空床補償等の補助金により減収が補填されたことで、総利益は30億1,400万円となり、経常収支比率は105.0%と年度目標を達成することができた。

1 決算額比較（税抜き）

区分	令和3年度の 年度計画（収支）	令和3年度	令和2年度	（単位 百万円） 比 較（3-2）	
				増減額	比率（%）
収益 計 (A) = (B+C+D)	63,410	65,643	64,427	1,216	101.9
営業収益 (B)	62,533	64,989	63,738	1,251	102.0
うち医業収益 (a)	52,076	49,018	46,525	2,492	105.4
うち運営費負担金	9,880	8,826	9,088	△ 262	97.1
うち補助金等	110	6,601	7,538	△ 936	87.6
営業外収益 (C)	878	654	689	△ 35	94.9
臨時利益 (D)	0	0	0	0	-
費用 計 (E) = (F+G+H)	64,224	62,627	60,860	1,768	102.9
営業費用 (F)	63,431	61,871	59,942	1,929	103.2
うち医業費用 (b)	60,043	58,479	56,705	1,773	103.1
営業外費用 (G)	704	674	833	△ 159	80.9
臨時損失 (H)	88	82	85	△ 2	96.5
医業損益 (a) - (b)	△ 7,967	△ 9,460	△ 10,180	719	-
経常損益 (B+C) - (F+G)	△ 724	3,097	3,652	△ 555	-
総損益 (A) - (E)	△ 814	3,014	3,567	△ 552	-

（注）計数は百万円未満切捨てのため符合しない。

2 病院別損益の状況（税抜き）

		（単位 百万円）							
		合 計	足柄上病院	こども医療 センター	精神医療 センター	がんセンター （病院）	がんセンター （重粒子）	循環器呼吸器病 センター	本部事務局
経常 損益	2年度	3,652	964	103	409	1,269	△ 210	1,624	△ 507
	3年度	3,097	924	△ 138	395	1,114	△ 321	1,676	△ 553
	増減	△ 555	△ 39	△ 242	△ 14	△ 154	△ 111	52	△ 46
総 損益	2年度	3,567	956	102	408	1,239	△ 210	1,578	△ 507
	3年度	3,014	922	△ 155	384	1,068	△ 321	1,669	△ 553
	増減	△ 552	△ 33	△ 257	△ 23	△ 171	△ 111	91	△ 46

（注）計数は百万円未満切捨てのため符合しない。

【参考】令和3年度経営指標

	年度計画	実績
経常収支比率	98.9%以上	105.0%
医業収支比率	86.7%以上	83.8%
医業収益に対する給与費率	56.5%以下	57.9%
給与費等負荷率	100.8%以下	106.4%